

## 葉牡丹号

先月末の大倉ふるさとセンターの活動はあいにくの雨となりましたが、子どもは普段以上に力や考えを問われ、戸惑いも思い通りにいかない事も多かったようです。大人の皆さんには午前中の教育講座にて、子どもの実態の多様さ、発想の中の両極、考えを進めていく姿について取り上げ、午後はアニメーションで虚の世界を構築する事に取り組んで頂きました。

孫三では、名の通り子どもも大人も学んでいこうという生涯学習の活動を行っています。子どもならではの学び、大人ならではの学びというのがあると思える一方で、子どもにも大人にも共通の学ぶべき課題があると思えてなりません。たとえば、日々の暮らしの一瞬一瞬の判断と決断が問われる事に、子ども大人の別ははずさずだからです。

2・3才ぐらいの子がかくれんぼをすると、隠れる側と追いかける側のどちらかに戸惑う、手で顔を隠すが立っている、鬼に背を向けるが姿が見えている、という姿が見られます。「見えない物」ない」という論理がどう変化していくのか。見えるのに無い、有るのに見えない、という考えが「見えないけれど有るはず」への大切な入り口だと思います。見なかったことにすれば無かったことに出来るという考えが跋扈する世界の中で発見すべき事はまだまだ多いと思わされます。

(文責藤原新)



\* 4月にお知らせした予定表では12月24日までの活動予定でしたが、12月の学び塾の活動は、12月17日(木)で最終日と変更させていただきます。

発行 孫まで三代私の学び tel 022-395-9192 fax 022-395-9193  
<http://mago3manabi.org> mail:info@mago3manabi.org